

広報



No. 109

昭和57年 7月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

夏休みをたのしく……………	2～3
あの人この人……………	5
—佐々木治郎さん—	
おしらせ……………	6～7
公民館だより……………	8～9



'82
7月

子供は水の子(森江野幼稚園新プールで)

をたのしく

七月二十一日から八月二十日まで小中学校は夏休みに入ります。

待ちに待った楽しい長い休みを有効に使うため、計画をしっかりたてさせ、それにそつた規則正しい生活を心掛けさせたいものです。

夏休みは、非行に走りやすいともいわれませんが、心身ともに伸び盛りの子供をじっくり観察できるのもこの機会です。親子で一緒に何かやってみませんか。親子のきずなを深めるのが非行防止の第一歩です。

また、交通事故や水の事故にも十分注意し、地域で子供を見守りましょう。



▲森江野小学校で

◆史跡めぐり



奥の細道で

国見は文化財の宝庫です。国見町史をひもときながら、親子で史跡を訪ね歩きませんか。生きた歴史が学べると思います。町公民館では、夏休み中に親子での史跡めぐりの計画を持っています。専門家の案内がありますので一層ためになるでしょう。

なお、史跡めぐりには、町教育委員会発行の文化財紹介のパンフレットをご利用ください。地図付きですのでたいへん便利です。希望の方は企画課にどうぞ。



石母田城

親子で一緒に

◆親子読書

夏休み中、何か一冊の本を親子で読んでみてはいかがですか。そして読後の感想を一緒に語りあえば、今まで気付かなかった子供の気持や、親の考えがお互いに知り合え心の交流ができる



ほくにも見せて

本を選ぶときの注意として、母と子の公民館活動の指導員内池和子さんは「小学校高学年だから絵本はいけな」といったことはありません。むしろ、一般的には一二年程度を落したものを選んであげた方がいいと思います。しかも、あまりせかささないで、ゆつくりと読ませてください」といっています。なお、公民館にも児童図書がいろいろありますので利用してください。水、木曜日には内池さんがいますので読書の相談ができます。

◆野山散策

行楽地やデパートめぐりもいいですが、親子で近くの野山を散策しませんか。汗を流してきれいな空気を吸えば話はずみずみです。山ユリ、ソバナ、ナデシコ、キキョウ、フシグロセンノウなどの花も見られるでしょう。赤井畑林道から水晶森林道を経て阿津賀志山に至る奥の細道コースなど半日の散策にちょうどいいと思います。また小坂、山崎、石母田の三つの峠からの眺めはそれぞれ素晴らしいものがあります。特に石母



石母田峠から

田峠は新幹線の眺めが最高です。七月三十日には公民館主催の親子安達太良登山も計画されています。楽しみにしていてください。詳しくは、公民館にお問い合わせください。





七月から八月の二か月間は青少年健全育成「県民総ぐるみ運動」の実践期間中です。家族みんなで明るい家庭をつくり非行をなくしましょう。特に夏休み中は非行に走りやすいものです。家庭では、次のような点に十分気をつけまし

非行に走りやすい夏休み

夏休み



▲藤田小学校で

- ① 勉強や遊びなどの日程表を子供たちに作らせ、はじめのある生活をさせましょう。
- ② 子供が外出するときは必ず行き先を確め、夜遊びはさせないようしましょう。
- ③ 家庭が楽しいところであるよう少なくとも毎日一回は家族そろってだんらんする機会をつくるようにしましょう。
- ④ 悪に負けない勇気を伸ばし、友達から誘われても断ることができ強い意志を育てるように、しつけ教育に重点をおきましょう。

夏の思い



社会教育主事
渡辺正誼

土人島ちんぼこだしてねばをぬる

誰々の句というおおげさなものではない。一俗人のそれこそ即興的に口に出して出てきたものであろう。紺碧の空、灼熱の太陽、濃い木々の緑、子どもらは、何かとも開放され、のびのびと遊び泳ぎ寝ころび、そしてまどろむ。身体に粘土をぬりつける。自分は土人だ。奇妙な声も出したのであろう。踊りもしたであろう。

はならなかった。その後神宮のマウンドも何回か踏んでいる。彼に匹敵する投手は多く出ているが、彼を越えた投手はまだいない。ほかは、今でも本塁が生んだ戦後高校野球界の最高の投手と信じて疑わない。彼には、人事を尽くして運命に従つたい。さきよさがあつた。それでよい。人間は精一杯人事を尽くして生きるしかないのだ。

夏休み…子供の交通事故をなくそう



夏休みに入ると、子供たちは、解放感などから、せっかく身についた正しい交通ルールや安全な動作を忘れがちになります。家族みんなで、交通安全について話し合ひましょう。

青少年に 明るい家庭を

〈青少年健全育成県民総ぐるみ運動〉

7月1日～8月31日

運動目標

- 家族みんなで明るい家庭をつくろう。
- 青少年の社会参加をすすめよう。
- 明るい社会環境をつくろう。
- 子どもを事故からまもろう。
- 青少年の非行をなくそう。

防ごう交通事故

夏の交通安全運動 七月二十一日
～八月二十日

交通事故の多発する本格的な夏をひかえ、七月二十一日から八月二十日まで、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動が実施されます。

町では町民総ぐるみで、激増する交通事故に歯止めをかけるため、町交通対策協議会、町青少年問題協議会、桑折警察署が一体となつて、七月十日午前十時から町福祉センターで、夏の交通事故防止と青少年健全育成県民総ぐるみ運動推進会議を行いました。

◎歩行者・運転者は
お互いに注意しましょう
夏休みに入ると、子供たちがばかりでなく、おとなたちも警さのために注意がおそろかになります。同じく運転者もぼんやり運転が増えます。このように夏は交通事故の発生しやすい時期ですから、十分注意しましょう。

推進モテル事業所
公立藤田綜合病院、国見町農業協同組合、国見電子株式会社、株式会社陸商会、ツバメコート株式会社、国見町役場。

募

交通安全シンボルマーク

集

交通安全シンボルマーク

1.応募資格
福島県内に居住する者

2.内容

交通安全を象徴するもので、単純明快なものとし、一見して交通安全に関するものであることがわかるものとがわかるもの

3.応募規定

(1)募集期間

昭和五十七年七月一日(㊤)から昭和五十七年八月三十一日(㊤)まで

まで

りでなく、おとなたちも警さのために注意がおそろかになります。

運転者はシートベルトやヘルメットは必ず着用するようにし、安全運転を心掛けましょう。

推進モテル事業所
公立藤田綜合病院、国見町農業協同組合、国見電子株式会社、株式会社陸商会、ツバメコート株式会社、国見町役場。

推進モテル事業所
公立藤田綜合病院、国見町農業協同組合、国見電子株式会社、株式会社陸商会、ツバメコート株式会社、国見町役場。

(2)応募数
一人二点以内

(3)応募及び問い合わせ先

福島県企画調整部総合交通課

〒900 福島市杉妻町二番十六号

電話 0245(21)1111

内2535

町職員の人事異動

七月一日付で次のとおり発令しました。(一)は旧任

▽水道課長(保健課長) 大波 健

▽保健課長(庶務係長) 大浪敏男

▽庶務課長(出納係長) 佐藤春夫

▽出納係長(学校教育係長) 吉田 輝雄

▶ルールを守って(貝田で)



花火遊びを安全に楽しくするために

花火は、大人にも子供にも幅広く親しまれ、夏の夜ならではの風物詩として、家庭の庭さきで手軽に楽しめる遊びです。しかし、安易な取扱い方をすると火災ややけどの原因となることもよくあります。安全に楽しく花火遊びをするために、つぎの点に十分注意しましょう。

- ▶安全な場所を選ぶ
- ▶気象条件を考慮する
- ▶子供だけで遊ばせない
- ▶注意書きは必ず読む
- ▶火薬をほぐしたり、数本まとめて点火しない
- ▶必ず水の入ったバケツを用意する



重量挙げ五二キ級

阿部享君(大木戸)が優勝

東北高校選手権



トータル七五五ポンド(スナッチ八二・五ポンド、ジャーク九二・五ポンド)で、優勝を獲得して、奮わなかった本県勢の意気をあげた。

第二回東北高校重量挙げ選手権大会が、去る六月二十六日青森県柏木農業高校体育館で開催された。五二キ級で出場した当町大木戸の阿部享君(福島農産校三年)は

「東北大会では減量に苦勞しましたが、それでも自己の持つベストには及ばなかったが、まずまずの成績でした。八月に鹿児島で行われるインターハイには、精いっぱい頑張ります」と語る阿部君は大木戸熊久根の阿部強さんの長男で、身長一六五センチ、体重五四キロと、均整のとれた好青年である。

国政モニターに石原さん



この制度は、国の重要施策など、意見・批判・要望などを国政に反映させるために設けられているもので、内閣総理大臣官房公報室から委嘱されているものです。

石原さんは、自由業教育の分野から選ばれたもので、忙しい絵画教室の合間に原稿用紙二枚程度の随時報告をしています。外に民友新聞社のモニターもしています。よろしく願います。

昭和五十七年度国政モニターに石原晃雲さん(錦町)が委嘱された。

あの人—この人—

57

—わが愛車は20歳—

佐々木 治郎さん

藤田字親月台1 (57歳)



らく印を押され、随き捨てられてゆくのが普通だ。

こんな風潮を嫌い長い間使用に耐えるものを求め、使い込んでゆく楽しさを目を向ける個性派も多い。いわば本物指向の人たちだ。駅前で珠算教室を開いている佐々木治郎さんもその一人である。車の距離計のキロ数が99999から00000に戻る、つまり十万里キロ走行の瞬間の感激を味わえるオナナは少ない。佐々木さんは、二十年來の愛車でこの感激をなんと、二度味わっている。二十万キロと一口にいうが、ざっと地球を五周した勘定なのだ。

愛車は、ダットサンブルーパー1062年型、100cc。「青い鳥」の名にちなむサックスブルー1系の色彩は、今も鮮やかでサビ一つ見出しもない。潮酒な車である。

長持の極けつは「愛情を持つた手入れ、そのことに尽きる」という。ワック、スは三日に一度、下部のフレームまで塗りエッジ

ンオイルは二千キロで交換、始業時点検は特に念入りに行う。エンジン音は好不調のパロメーターだ。「主治医と呼べるいい整備士に恵まれて居る」のもその一つだ。だからといって、病弱な車では決してない。スピードも百二十キロは出るし、いつもきびきびと街頭を走っている。

運転歴三十年、無事故無違反で交通安全全緑十字銀章も五年前に受けた。「どこを走っていても注目的、必然的に安全運転心掛けするようになる。これも車のお陰」。車を手に入れた昭和三十年代当時、町役場にさえ公用車一台もなかった時代であり、奥さんと松島までドライブしても出合った乗用車はたった四台だったという。最初から目をひいてきた車だ。

好車家やメーカーから譲って欲しいと声がかかることもしばしばだが、「私にとってはただ古さだけの価値ではない。愛用してきた価値は他に換えられない」と断っている。

ロマンスグレーの髪にも、若さが満ちている佐々木さんだが、一つ心配ごととは最愛の奥さんが病床にあることだ。幸せを運んでくるという愛車で一緒にドライブできる日が近いことを祈りたい。

趣味は、玄関のドアを彫り上げた腕を持つ木彫など。

八月一日から三十一日まで「道路をまもる月間」です



大害虫

キボシカミキリ虫

この虫は、幼虫期に桑株の木質部に潜入して食害し、樹勢を衰えさせ枯死させます。成虫期は長期間にわたって、若い桑葉を食べるため、その被害面積は年々拡がっています。

防除の方法は、被害桑株を薬剤で消毒する方法と、七月から八月にかけて発生する成虫を捕殺する方法があります。特にイチジクの木には、成虫が多く集りやすいので捕殺に協力してください。なお八月から十一月まで、農協支所窓口で成虫を捕へてくれた方には、一匹五円で買上げます。ご協力ください。



成虫は体長約20～25mmで、尻黒、羽は黒色で大小種々の黄色斑紋がある。

国民年金

保険料免除の手続き

国民年金の保険料は、一カ月五千二百二十円ですが、保険料を納めることが困難な人のために「保険料納付の免除制度」があります。保険料免除制度には、「法定免除」と「申請免除」の二通りがあります。

●法定免除
届け出るだけで免除になるもの
国民年金の障害年金、障害福祉年金、母子(準母子)福祉年金を受けている人や生活保護法の生活扶助などを受けている人などです。

●申請免除
申請し、承認を受けて免除になるもの
所得がない人や世帯員が生活保護法の医療扶助を受けていることなどで保険料を納めることが著しく困難な人です。

あなたがこのような条件にあてはまるときは、保険料を滞納のままにせず、町役場で免除の手続きをとってください。

免除を受けた期間は、その後生活にゆとりができたときに、承認を受け過去十年前までさかのぼって納められる追納制度があります。

身体障害者巡回相談会

次の要領で身障害者相談会が行われます。

- 1. 補装具相談会
7月20日(金)10時から15時まで桑折町公民館
- 2. 相談順路
受付→相談→判定→義装具製作修理(補聴器)

—適合判定
3. 持参するもの
身障手帳(戦傷手帳)、保険証、印鑑

縦覧

阿武隈川上流 下水道事業(案)

阿武隈川の水質保全及び地域住民の生活環境改善のために、福島県が、福島市外五町の区域に流域下水道を計画検討していました。関係機関との協議も整いましたが、県北都市計画下水道の決定をする事になりました。

このたび、その計画案を住民のみなさんに縦覧します。お気軽においで下さい。

■縦覧場所
■縦覧期間
七月二十日から八月三日まで

万蔵稲荷由来

むかしむかし、小坂村に万蔵という貧しいが正直で親切な男が住んでいました。あんまり人に親切にするもので「馬鹿万蔵」などからかう人もいましたが、誰にでも親切にしているうちに誰ということなく、「ほとけの万蔵、正直万蔵」といわれるようになりました。

ある年の暮れのことです。仕事を休めた万蔵が大きな杉の木をそばまでくると、朝からの雪で道もわかりません。そのうえ腹もすいていたので杉の木の根元にうずくまると、そのまま、気が遠くなっ

てしまいました。

どの位たったのでしょうか。「万蔵、万蔵」という声にびびりして目をさました。そばに立派な侍が目につきました。「それが、この山の稲荷大明神の使いである。その方の正直で信心深いのを愛でて、良い正月を迎えさせようとの大明神からの思召しである。それが共に福島へ行くよい、そういうったかと思うと、侍の姿はスーツと消え、かわりに立派な黒馬が立っていました。万蔵は半信半疑でしたがともかく馬について福島の下へ出て行きました。するとその立派な馬が殿様のお目にとまり、「ぜひ売ってくれ」と大そうな小判で買い上げてくれました。

ところが正月も過ぎたある日、お城から二家来衆がやってきて、「この間の馬が売ってしまったがごの家に来ているはずだ。差し出すようにはどういわれませんでした。万蔵は困りかけていたが、何もかも正直に稲荷様のお話を申し上げました。

これを聞いた殿様はボンと膝をうち、「これこそほんとに正直の頭に神が宿ったのじゃ、感心なもので、大そうおほめにやりました。それからとうとうの万蔵はますます山の稲荷様を大切にし、村の人々も「万蔵稲荷」と呼び親しんで信仰したそうです。

昔ばなし



思い出の写真

— 阿津賀志山ろくを

ゆくSL—



佐藤 勝さん

蒸気力而走る汽車は、昭和三十六年の電化まで活躍してきた。写真は昭和三十一年、現在の町民グラウンド付近から撮影したもので、佐藤勝さん（貝田・七十二歳）の話。

「藤田駅から貝田駅までは急坂でカーブの続く難所。下り列車はその名とは裏腹に、この上り坂を速くからはずみをつけ、あえぎあえぎ登ってはずみをつけるのです。しかも人の早足くらいの速度で。ありったけの力を出しているのは、煙と音で速くからでもわかりました。」

ゆっくり通過したため、茶の花やレンゲ草の咲く時季には、信達平野の見事な眺望を十分楽しませてくれたものです。高原列車の風情がありましたね。一方、汽車はばい煙を巻き上げ、火災も引き起した公害の発生源でもあったことは事実です。大正年間には、貝田駅住民の死亡率が高いのはばい煙のためではないかと調査があったほどです。」

六月二十三日

新幹線が開業した。上野まで八時間かかった当時の旅は今その四分の一に過ぎない。「運ばれるだけでなく、旅を味える列車も欲しい」と佐藤さん。

（写真提供は鈴木捷治さん）



善意の窓

町福祉協議会に

◆大津スイさん（第一）から十万円—故障男さんのご遺志

◆八巻カネヨさん（大町南）から三万円—故正雄さんのご遺志

◆大津スイさん（第一）から三万円—故障男さんのご遺志

◆八巻カネヨさん（大町南）から三万円—故正雄さんのご遺志

藤田幼稚園に

◆八巻カネヨさん（大町南）から三万円—故正雄さんのご遺志

藤田小学校に

◆八巻カネヨさん（大町南）から二万円—故正雄さんのご遺志

森江野小学校に

◆大津スイさん（第一）から三万円—故障男さんのご遺志

森江野小学校に

◆大津スイさん（第一）から三万円—故障男さんのご遺志

森江野小学校に

◆大津スイさん（第一）から三万円—故障男さんのご遺志

森江野小学校に

税金なんでもダイヤル



お気軽にご利用ください。

(0245) 33-4811

仙台国税局 福島税務相談室(福島税務署1階)



税の相談は

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)

時間：9時～12時

ごまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

7月24日(土) 菊地平助, 朝内 ひで

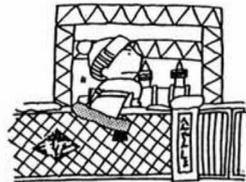
8月5日(木) 吉田忠吉, 村上ハツヨ

8月14日(土) 吉田正雄, 佐久間いち

こよみ

7月 文月(ふみづき)	8月 葉月(はづき)
16日 やぶいり	1日 八朔(はっさく)
17日 勤労青少年の日	4日 津軽ねぶた祭
20日 土用	6～8日 仙台たなばた
無料入権相談(福祉センター)	7日 鼻の日
23日 大暑	8日 立秋
29日 土用丑の日	15日 終戦記念日

●変電所や発電所のそばをのりこえたり、発電所のそばをのりは絶対にやめましょう。





▲熱心に講義をきく学級生

去る六月十日(木)午前九時から、文化財の吉民家周辺の除草と清掃を実施しました。
学級生百二十七名の参加があり、昨年よりは、約四十名も多くの方が、文化財保護のために、真剣に汗を流しながら奉仕してくれました。昔とつたきむづか?とか、その仕事ぶりはさすが熟練されたもので、教育長をはじめ、協力した公民館職員のみならず、その手早さには感嘆しました。
作業終了後、カルピスの冷たい飲物で、のどをうるおし、十時から、元福島市教育長をつとめられた辺見正治先生と、県婦人教育指導員遠藤よねご先生の二人による「中国を視察して」の講演とスライド上映がありました。
きりつめられた中国生活の現状や、広大な自然風土、建物など、興味深いものが多く、学級生の約三割の人たちが、大陸での戦争やその他で中国での生活経験者であるから、なつかしさの余り、途中で涙ぐむ人もおり、充実した六月の学習でした。



高齢者教室

六月の学習

国見町公民館
電(公) 2676
話(有) 4156

乳幼児学級 楽しいゆび絵

うまく描けたかな?

六月二十一日(月)「小さな画家の家」主宰の石原晃雲先生を講師にお招きして、「ゆびで書く絵」の指導を受けました。
お母さんが二十名、乳幼児が二十六名、ボランティアの方々が六名、みんな一緒にあって、一枚のカラー画用紙に、一枚の先で、自由に「三つの点の顔」を表現し、お母さんと語り合いながら、真剣に絵描きに没頭している姿は、本当にほほ笑ましく、母と子にとってはまたとないふれ合いの時間でした。
作品を中心に、「子どもの選んだ色と心の動き」について講義があり、子どもが使う色によって、現在のその子が心理的にたまたかっている心の位置判断が出来るということなど、今後の情操を育てるためには、大変効果のある学習でした。
次回は、七月十四日「家庭で作れる乳幼児のおやつ」で、おやつ作りを実施します。作ったおやつ

▼おじょうずネ



七月の学習

◆成人学級 七月二十二日

「あなたを生かす人間関係」
桜の聖母短大助教授 樋口勝也
先生の講義

◆婦人教養講座 七月二十七日

「子どもの教育と親の役割」
瀬ノ上小学校長 下山政一先生
※一般の方々の聴講をお待ちしています。
時間は、いづれも午後一時三十分から。

文芸欄

あつかし俳句会

十葉の花真白し梅の庭
さなぎだに閑々老や梅雨籠り
老の身に楽しき老あり草むしり
雨蛙鳴けば小庭の風揺るし
つるばらの咲き継ぐ庭の唄赤し
古りヤカいまだそのままや麦の秋
ふくよかになりて少女の更衣
嫁がせてたそがれ長し遠蛙
覚めて聞く砧打つごとく梅雨平
寺町や土壱支えて花ざかり
柿の花踏みて牛舎に通いけり
山青葉吸い込まれゆく「やまびこ号」

を試食しながら、母子とボランティアの方との話し合いの時間を持ちますから、学級生の方は、休まずに出席してください。

- 奥山 甲二
- 熊田 一陽
- 加藤 痴仏
- 藤田 勝衛
- 蒔沢 秋子
- 佐久間山月
- 赤間はる子
- 羽賀 えい
- 佐藤 國樞
- 高橋 仙子
- 須田 泰山

みんなで町を

きれい!

国見町青年学級
委員長 石川 博利

青年学級では、月に一度「町内清掃」を行なっています。これは昨年から自主活動として始まり、今年もうけついでです。

「自分達の住んでいる町をきれいにするんだ」と意気こんでいるのは、私一人だけでなく、みんな真剣にとりくみ、日曜の早朝だというのに多くの人たちが集まってくれるのは、すばらしいことだと思えます。

実際にゴミ集めしてみると、「よくもまあこんな所まであるものだ」と感じます。と同時にやっぱりこんな空カンなどを捨てて人がいることは残念です。



▶こんな所にも

皆さんの部屋に空カンが一つでもあれば目につくものですが、道路では、つい見すくしてしまおう。山と積まれたゴミを見ると、「私一人が投げて」という気持ちで捨てたものと思えます。一番たいせつなことは、捨てないうようにしなければならぬということだと痛感させられました。そして、私達の活動が少しでも役に立ち「ゴミのない国見町」となれば…….と思えます。

文化団体紹介

アマチュア無線クラブ

私たち、アマチュア無線クラブは、無線技術の向上と、親睦を目的として昭和五十一年に発足しました。

アマチュア無線とは、金銭上の利益のためではなく、もっぱら個人的な無線技術の興味によって行う自己訓練、通信及び、技術的研究の業務を目的とした無線局のことなのですが、実際は、外国との遠距離通信や、新しい分野の極超短波での通信、テレビ画像の送受信など、さまざまな活動がなされています。

当クラブの活動状況ですが、会

図書寄贈

大木戸の松浦ミツさんから文庫本、夏樹静子の「あしたの貌」外9冊寄贈されました。



員33名で、月一回の定例会が行なわれ、無線活動のための話し合いが行なわれています。

その外、野外での移動運用、アマチュア無線連盟の競技会などにも参加しています。

これからも新しい技術、知識を勉強していきたいと思っています。

会長 佐藤 和夫



額の花やがて年金ぐらしかな

詩

ほたる

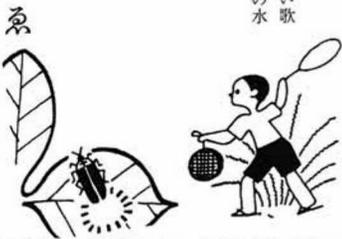
ラジオから流れてくる懐かしい歌「ほ、ほたる来い。彼方の水は苦いぞ。……」

三歳になつたばかりの夏大きな虫籠を手に父の後から着いていった

草の茂みの中で灯つていた螢枕元に、螢をおいて寝入つてしまつたあの夜

夏が来る度、螢を見かける度あの頃を思い出す。

森田 栄子



マラソン大会

高野輝男くんが優勝

中学生の部

六月二十日、桑折町文化記念館前で第四回国見町桑折町マラソン大会が実施されました。

当日は夏空の下、選手三百名の参加で、桑折町の繁華街を一キロから五キロの各種目熱戦が展開されました。

種目別順位は次のとおりです。

◇中学生男子四キロ ①高野輝男

(県北)14分44秒 ②矢野邦弘

③佐藤公彦 (県北) ④奥村則男 (県北) ⑤高原逸 (県北)

◇中学生女子一キロ ①斎藤友子

④松野広子 (以上釧路)

◇一般男子二十五歳以下五キロ

①佐藤正明18分40秒 (桑折) ②右幡勝弘 (桑折) ③佐藤芳吉 (国見)

④笹沼広 (国見)

◇同男子三十五歳以下四キロ

①本望裕一15分17秒 (桑折) ②酒井正人 (桑折) ③佐藤俊一 (桑折)

④高橋豊光 (国見)

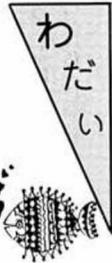
◇同男子四十五歳以下三キロ

①田中薫10分52秒 (国見) ②青木功 (国見) ③矢野正 (桑折) ④本間正樹 (桑折)

◇同男子四十六歳以上一キロ

①新野通善7分21秒 (桑折) ②本望高治 (桑折) ③佐藤友一 (桑折)

④佐藤健雄 (桑折)



親と子の接し方

県北PTA指導者研修会

県教育委員会と国見町教育委員会主催による、福島県PTA指導者研修会が七月一日、二日の両日、町公民館で開催され、PTAの役割と指導のあり方について学習しました。

この日集ったのは、福島市、伊達郡、安達郡の二市十三町二村の小中学校PTA役員ら約二百人で、一日は午前九時半から開会式を行い、村岡房之助県教育庁県北教育事務所長、堀切光孝町教育長のあいさつ、佐藤国見町長の祝詞のあ

と研修に入りました。

研修は、「児童・生徒の健全育成のためPTA活動をどのように充実したらよいか」を主題に、初日は健全育成と地域づくりについて、珠玖淑子県中央児童相談所主任心理判定員の「児童・生徒の健全育成のためのPTAの役割」と題し



研修会(町公民館で)

た講演を聴いたあと、協議を行いました。

二日目は、午前九時から始まり矢部輝雄町立藤田小学校PTA教育委員長と、遠藤四郎東町立小浜小学校教諭の事例発表のあと、健全育成にかかわる子供の指導のあり方について、小中学校に分かれて協議をしました。

午後からは、映画「母の願いと父の役割」を観賞し、その内容をもとに健全育成と家庭教育のすすめ方について、それぞれ分故会を開き熱心に討論をかわしました。

千キロレースで新記録

佐久間さんのハト

佐久間貞勝さん(宮町北・四十二歳)のハトが西鹿兒島からのレースで驚異的な記録を出し、愛鳩家の仲間の評判になっている。このレースは宮城・福島県から

千羽以上出場して五月四日実施された。千キロを越す長距離で、かつ權威のあるものである。成績は分速一二四メートルで過去最高記録をはるかに上回った。半分近く帰還しない過酷なレースにもかかわらず、外の三羽も全部戻っている。

「翌朝に帰るとは思っていないから驚いている。私の宝だ」と灰ゴマの雄三歳の勝利者に注がれる佐久間さんのまささきも熱い。



新記録を出したハトと佐久間さん

編集日記



○六月二十三日七時過ぎ、東北新幹線上一番列車が朝もやの国見を駆け抜けていった。大宮定始発とはいいながら、この日の開業は東北に住む人にとって長い間の夢の実現である。

○梅雨晴間のある日、石母田峠に立った。集落が緑の海に島々のように浮んでいた。国見峠付近の車窓からもこんな風景が見える。県境をトンネルで抜ける新幹線は乗客から一つの楽しみを奪ったようだ。その風景は旅する人に国見を印象付けるものだからである。峠に立つてそう思った。

○東山魁夷画伯は、自然の方から描いてくれと囁きかける風景があるといっている。これは観光地の風景では決していない。風景を友に生きた金山平三画伯は、そんな風景を国見にみて「春の石母田」を描いたに違いない。

○もうすぐ夏休みだ。子供たちにも国見の自然を身近に親しませたいと思う。宮沢賢治のいう風とゆききでできる風景がそこにあるから。

戸籍の窓口

(6月受付分)

出生おめでとうございませす
子名 保 護 者 部 落
裕由美 樹美 美子 望子 恵夫
垂珠 美美 美子 望子 恵夫
由珠 美美 美子 望子 恵夫
垂珠 美美 美子 望子 恵夫

結婚おめでとうございませす
氏名 部 落(前住所) 部 落
渡宮 久山 井 美に 一子 男 美
佐久 川山 井 勝 清 洋 富 士 春
山 舟 永 美に 一子 男 美

おくやみ申し上げませす
氏名 年 齢 部 落
佐安 森武 八志 大 八 半
佐安 森武 八志 大 八 半

人口と世帯

7月1日現在(前月比)	6月中のうごき
男 5,880人 (-15)	転 入 15人
女 6,225人 (+6)	転 出 25人
計 12,105人 (-9)	出 生 10人
世帯数 2,852戸 (+1)	死 亡 9人

発行・編集 国見町企画課 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁目2ノ1
電話 九九九一七〇藤田(〇二四五五二二一)代